室蘭再発見

室蘭市医師会
おぎのクリニック　　荻野（おぎの）　武（たけし）

室蘭に住んで15年が過ぎました。移動の多かった以前の生活と違い同じ場所での生活としてはかなりの長期間になりました。室蘭といえば製鉄所ですが、それに関連した工場も多く工業の町です。風が強く、気温相当より寒く感じます。冬には雪の吹きだまりができ、そのほかの季節では砂が飛ばされてきて建物の周りに砂がたまります。海から山までの距離が短く平地が少なく、多くの住宅は山の斜面に建てられています。当初室蘭の印象はあまり芳しいものではありませんでした。したがってこの室蘭についてあまり知りもせず過ごしてきました。

それが一変したのがコロナ禍でした。人の集まるところには行かず、行動範囲が狭まりました。こんな状況でも何かできないかと思い妻と二人で電動アシスト自転車を手に入れ、運動不足解消がてら自転車にて室蘭の探索を始めました。コロナで閑散とした室蘭の繁華街や室蘭工業大学周辺、他の住宅街などいろいろなところを自転車で回りました。閉店したお店が多い中、興味をそそる新しいお店ができていたり、眺めの良い公園があったり、鹿や狸に遭遇したり、高台から見る工場群も含めた室蘭の全景の良さなど多くの発見がありました。車では素通りしてしまうところも自転車でゆっくり見て回り、室蘭の良いところがいろいろ見えてきました。このように室蘭もまんざらでもないなと思うようになりました。

そこで室蘭の紹介を兼ね、おすすめのサイクリングコースを紹介したいと思います。東室蘭駅から地球岬、測量山、エンルムマリーナ、室蘭駅を通って戻ってくるコースです。まず東室蘭駅から南へ海岸方面に自転車を走らすとイタンキ浜という海水浴場があります。砂地を歩いたときキュッキュッと鳴る鳴り砂の海岸です。そこから南西方向は断崖絶壁の海岸で絶景です。その断崖の方向に進むと室蘭の数少ない観光地である地球岬に至る観光道路があります。地球岬に行く途中には海岸が黄金色に輝くという金屏風（実際に輝いているところを見たことはありません）やアイヌ語でアザラシの岩という意味のトッカリショといった景勝地があります。進行方向左側にはそれらの断崖絶壁の景色が右側には港を囲むように工場が立ち並ぶ室蘭港が見えます。港の入り口には東日本最大のつり橋、白鳥大橋が架かっています。近くで見るとさび付いた工場も遠くから周りの景色とともに見れば、趣あるものとして見ることができます。夜には白鳥大橋はライトアップされ工場の明かりとともに綺麗です。地球岬までは少しきつい上り坂がありますが電動アシスト自転車では楽々上れます。地球岬は高さ100メートル前後の断崖絶壁が連なり、晴れた日には展望台から太平洋を一望できる景勝地です。白色の灯台もいいアクセントになっています。地球岬から室蘭駅方面まで下って行きます。以前は賑わっていた商店街（今ではシャッター街ですが）を通ってそこから測量山に登ります。最後の登りはかなりきついですが電動アシスト自転車なら大丈夫です。測量山は標高200メートルほどですが室蘭市を360度一望できる展望スポットです。噴火湾、昭和新山、有珠山、天気の良い日は羊蹄山や駒ケ岳まで見えます。一息ついたらあとは絵鞆岬まで下っていきます。エンルムマリーナまで海を見ながら進みます。マリーナの近くには入浴施設もありゆっくり休憩してください。左に白鳥大橋を見ながら進み、海岸沿いの工場群を通り抜けると室蘭駅に着きます。お腹が減っていれば室蘭の老舗の天丼屋天勝で食事を。天ぷらはたれが良くしみ込んだしっとり系ですが、サクサクとは違った味わいがあります。その後は東室蘭駅まで上り下りがまだありますが、あとひと踏ん張りで到着です。お疲れ様でした。コースは高低差がかなりあるため、私と同年代の方では電動アシスト自転車でなければきついかもしれません。興味ある方は回ってみてください。

室蘭市内には行ったことのないところがまだまだあり、これからも自転車探索を続けていきたいと思います。長期間住んでいても意外と良いところを見逃していることが多くあります。皆様も自転車探索にて自分の住んでいる街の再発見を試してみてはいかがでしょうか。